

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年9月6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100284		
法人名	有限会社 カサブランカ		
事業所名	有限会社 カサブランカ	ユニット名	
所在地	〒311-1204 茨城県ひたちなか市平磯遠原町17-14		
自己評価作成日	平成25年5月1日	評価結果 市町村受理日	平成25年8月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0872100284-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年6月13日	評価確定日	平成25年8月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的、家族的な雰囲気作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域医療を担っていた医師（故人）の「施設退所者の地域での受け皿が必要である」という強い思いをきっかけに開設した事業所である。 代表者や管理者は協力医療機関や家族等と緊密に連携を図りながら、利用者が家庭的な環境のなかで地域住民と交流しながら最期まで生活ができるよう支援している。 職員は代表者や管理者の思いを十分に理解し、内部研修や外部研修を受講してより質の高いサービスの提供に向けた取り組みをしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会議等、始めに全員で理念を読み上げたり、皆で実践に繋げている。	全職員で話し合っって策定した「明るく、家庭的な雰囲気のもとに、地域社会や家族とのむすびつきを大切に、その人らしい安心した生活が出来るよう、支援させていただきます」という事業所独自の理念を掲げている。 理念を玄関に掲示するとともに、職員会議で理念を確認し、職員は家庭的な雰囲気を大切にしながら利用者が地域住民と交流ができるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の散歩や買い物の際に、挨拶や会話をかわしながら、日常的に交流している。又、地域の祭りや自治会の奉仕活動に参加させていただいたりと交流している。	利用者や職員は、散歩や買い物の際に地域住民と挨拶や会話を交わすとともに、自治会が実施する公園清掃に参加している。 地域の祭りで山車が事業所で休憩した際には、職員は祭り関係者に飲み物を振舞い、山車を引く子どもたちは利用者に踊りを披露している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の祭りや、自治会の奉仕活動に参加させていただいている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実際、取り組み状況等の報告や話し合いをおこなっている。又、運営推進会議の話し合いで、奉仕作業の参加の実現や、外出先を教えていただいたりと、サービスの向上に活かしている。	運営推進会議の年間計画にそって、家族等や市職員、地域住民の代表、民生委員で運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、運営状況などを報告している。 運営推進会議で委員から得た利用者が楽しめそうな外出先や地域行事などの情報を行事に組み入れている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からないことや利用者の様子など、市担当課を訪問したり、電話で連絡を取り合ったりしている。事業所の運営に関する疑問やサービスの取組みなどを相談するなど、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者は運営推進会議議事録を市担当者に直接届けるなど、なるべく面会する機会をつくるよう努め、介護保険制度に関する疑問点を聞いたり、事業所の介護への取組み姿勢などを積極的に発信したりしている。 管理者は市担当者に避難用らせん式滑り台やスプリンクラーの設置について相談し、具現化している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設勉強会等などを行い、禁止の対象となる具体的な行為等、正しく理解していると思います。玄関の施錠はせず、出入りの際チャイム音などでわかるようにしたり、身体拘束をしないケアに全員が取り組んでいる。	管理者は身体拘束排除マニュアルを作成するとともに、内外の各種研修を通して職員が身体拘束の弊害を理解するよう努めている。 「身体拘束のない介護のための方針」を廊下に掲示するとともに、身体拘束をしない場合のリスクを家族等に説明したり、外出への付き添いなど、徹底した目配りや気配りにより、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設勉強会を開催し、高齢者虐待防止法等について学んでいる。又、防止に努めている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	権利擁護や成年後見制度についての研修などに出席。又、以前に社協の地域福祉権利擁護事業を使っていたご利用の方がいたため、職員も周知していると思います。今後も必要な方達に活用出来るよう、勉強していきたいと思っています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者の方や、ご家族が理解・納得を得られるよう、時間をかけて説明を行っている。又、ご利用者・ご家族等に不安等のある場合お試し入居など、十分に納得していただいた末に契約を結んだりしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時、ご利用者・ご家族には、苦情相談（意見・要望）について、文章により明確に説明を行っている。又、日々の生活の中で意見・要望などないか、職員がさりげないコミュニケーションの中で聞き出したりと配慮してケアを行っている。	職員は家族等が来訪した際には、用件を済ました後に改めて世間話などでリラックスした雰囲気をつくり、意見や要望を出してもらえるように努めている。利用者や家族等から出た外出先や食事の要望を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行っているカンファレンス時に職員の意見・提案を聞く機会を設け、職員の働きやすい職場の環境作りなど、反映させている。	職員会議は月1回午後6時から開催することとし、休みの職員にも子ども連れの参加を働きかけ、全職員が参加できるよう工夫している。 勤務体制の変更や痰吸引研修への参加など、職員から出た要望を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成等、カレンダーに職員が、自由に休みを書き入れ、職員が向上心をもって、働きやすいよう、整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自由に研修や試験に参加できるよう、しふと調整など、協力的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	茨城県地域密着型介護サービス協議会・茨城県老人福祉施設協議会・ひたちなか市社協等に入会しており、勉強会等、交流する場があり、色々な情報や分からないこと、困っていること、その他、勉強させていただいている。又、それをサービスの質の向上につなげられるため、非常に助かっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人に寄り添いながら安心して生活ができるよう、日々、努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様に寄り添いながら、関係作りに日々、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用段階時、ご本人・ご家族が何を必要としているのか？今後どのようにしていきたいのか？良く話し合いをし、グループホームとして可能な限りのサービス提供の対応に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム全体が家庭的・家族的な雰囲気であり、「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気で関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その時々、場面場面においては、ご家族に相談しながら、参加させていただいたり、ご本人を共に支えていく体制で取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の思いを大切に、友達や馴染みの場所など、ご本人の訴えがある時などは、連絡を先にとるなどして、連れていってあげたり、又、遊びに来てもらったりとしている。	職員は利用者が馴染みとしていた海岸や理・美容室への外出、友人との面会を支援しているが、把握した馴染みの人や場所を記録に残し、全職員で共有するまでには至っていない。	利用者がその人らしく生きるためには、これまで培ってきた人間関係や社会との関係を把握することが重要であることを再認識し、把握した結果を記録に残して全職員で共有することが望まれる。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気を時折、ご利用者様に話しており、時には助けたり、助けられたりと言う関係で生活を送っている。又、その支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族も高齢化していることもあり、様々な形で、ご家族にたいしても支援を行っています。近隣のご利用者の方が多いため、温かなつながりを大切にしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを大切にし、けして無理強いせず、本人のペースに合わせての支援の体制作りに取り組んでいる。	職員はアセスメント並びに利用者や家族等との話し合いの中で、利用者の思いや意向の把握に努めているが、明確な記録として残すまでには至っていない。思いや意向を表わせない利用者については、表情やしぐさ、家族等の話から思いや意向を汲み取るよう努めている。	利用者や家族等の思いや意向の把握がケアの出発点であることを再認識し、把握結果を明確な記録として残し、全職員で共有することが望まれる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者一人ひとりの生活歴を把握すると共に、その時々々の場面において、出来ることなどを、手伝っていただいたり、把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人ノートの記録や、スタッフによる報告など、現状を把握するように努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、ケア会議を行っている。又、本人、家族、医師、看護師の意見など、定期的に聞き介護計画を作成している。	計画作成担当者が利用者や家族等の要望、職員や医療関係者の意見に基づいて介護計画を作成している。介護計画は3ヶ月から6ヶ月毎のモニタリングや評価に基づき、利用者の状態にそって作成されており、要介護度が改善するなどの実績を上げている。利用者の状態や家族等の要望が変化した場合には、目標期間にかかわらず、随時介護計画を見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルを用意しており、個人のケース記録を、それぞれ、月別に記入している。バイタル・食事水分摂取量・口腔ケア・整容・内服薬点眼・排泄・気付きなど、その日の行動等、様々な角度から、ご利用者の方をとらえて記入している。介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ケアの取り組みとしても、本人の要望等に応じられるよう、職員の配置などにも気を配り、柔軟な支援が出来るよう、日々、頑張っ取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中での奉仕活動や祭り、近隣の方々とのコミュニケーションなど、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう、日々、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診に関しては、本人、家族の希望を大切にしている。又、受診後の報告するなど、電話連絡や、必要に応じては、家族の付き添いなどの受診を行っている。かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時に入居前からのかかりつけ医を把握している。 利用者や家族等の希望するかかりつけ医や専門医への受診の際には、必ず職員が付き添うこととしており、必要に応じて家族等が同行している。 家族等が同行しなかった場合は、職員は電話などで家族等に受診結果を報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師などと、日々の情報や気付きなどを相談している。又、適切なアドバイスや看護を受けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院関係者との情報交換や相談は常にしている。又、入院時より、毎日、顔を出すようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族等との話し合いを行っている。又、本人・家族等の要望を大切に、かかりつけ医と相談しながらケア会議を開催し、職員との方針の共有をしている。その人それぞれに合った取り組みを行っている。	入居から看取りに至る流れ図を記載した介護マニュアルを作成するとともに、協力医療機関の医師や看護師との緊密な連携のもとに、利用者及び家族等と話し合いを重ね、この1年間に3例の看取りを行っている。職員は協力医療機関の医師や看護師から、看取り介護に関する現場教育を受けている。重度化や終末期に向けた事業所の対応方針について、契約時に利用者や家族等に口頭で説明しているが、文書化したり書面で同意を得るまでには至っていない。	利用者や家族等の安心のためにも、重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を文書化し、契約時に説明して書面で同意を得ることが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践力を身につけられるよう、カンファレンス時、必要に応じて、勉強会などを開催している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に行っている避難訓練等を通じて、職員全員、日々、頑張っています。又、3・11の大震災時、近隣の方々の協力により避難することが出来、大変助かりました。今後も近隣の方々とお付き合いを大切にしたいと思っています。	消防署立会いを含む年2回の避難訓練や消防設備点検を実施しているが、夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。避難完了時間など、避難訓練で得られた課題を記録に残すまでには至っていない。避難訓練への地域住民参加などの協力体制構築については、地域関係者との話し合いを重ねる中で実現の一步前まで来ている。災害に備えて食糧や飲料水、懐中電灯などを備蓄しているが、食糧の期限などを記した備蓄品リストを作成するまでには至っていない。	10月に予定している夜間を想定した避難訓練を確実に実施するとともに、避難完了時間を含む実施結果の記録や避難限界時間の把握が望まれる。災害時の地域との協力体制の早期構築と備蓄品リストの整備に向けた取り組みが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保、言葉かけや対応など気をつけて対応している。	職員は「下着が出る」など、利用者の衣服が乱れた際には、居室に誘導して身だしなみを整えるほか、排泄支援の際には周囲に気付かれないようにさりげなく誘導している。 管理者は職員からプライバシー保護に関する誓約書を取る中で、職員に対して個人情報保護の重要性について説明をしている。 個人情報に関する書類は、人目に付かない事務室の書棚に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定が出来るよう、全職員ケアを行っている。又、働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必要な場面において、職員を手厚く配置したり、一人ひとりのペースを大切にし、支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その都度、ご利用者の方と職員が一緒になって洋服を選んだり、さりげなく支援に努めている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の方の出来るところから、無理せず準備や片付けをしていただいている。	職員は刺身やまぜご飯など、利用者の要望を聴きながら、旬の食材を取り入れた献立としている。 月2回程度は外食や店屋物を楽しめるよう支援してる。 利用者は職員と一緒に下膳やテーブル拭きなど能力に合った役割を担うとともに、職員と一緒に同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ファイルに毎日の栄養摂取量、水分量のチェック項目があり、全職員が周知出来るようになっている。又、一人ひとりの状態や、力、習慣に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。又、本人の力に応じた口腔ケアを行っている。個人ファイルに毎日の口腔ケアチェック項目がある。又、在宅歯科が入っているので、口腔衛生や治療など、専門的な口腔ケアをしていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中、夜間の排泄状態について、排泄パターンを、職員全員が理解・把握しており、自立にむけた支援を行っている。	職員は利用者毎の24時間の排泄チェック表で排泄パターンを把握するとともに、落ち着きなくなるなどのサインを見逃さずにトイレでの排泄に向けた支援を行っている。 職員は利用者がトイレまで歩いて行くための筋力をつけるリハビリ体操を取り入れるなど、おむつや紙パンツに頼らない生活ができるよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響を、全職員が理解している。おやつなど、なるべく手作りで、素朴ではあるが、ふかし芋など繊維物が豊富にふくまれているような食べ物を工夫している。又、毎日の散歩など、運動なども個々に応じて、取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日の入浴は行っている。入浴者の基本的な順番はありますが、入りたい方は体調にあわせて、その都度入浴していただいています。入浴の長さは、個人の希望にあわせています。入浴時間については、ご利用者の方達の疾病などもからみ、現在は日中で行っています。	日中の時間帯に毎日入浴ができるよう支援をしているが、希望すれば夜間の入浴も可能となっている。 季節が感じられるよう菖蒲湯や柚子湯を取り入れたり、入浴剤を使用して入浴が楽しみなものになるよう工夫している。 入浴を拒む利用者に対しては、多くの職員が様々な声かけをしながら入浴ができるよう誘導している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースにあわせて、全職員がケアを行っており、夜間に関しても、目が覚めてしまうご利用者の方に対し、夜勤者が一緒に時間を過ごすなど、安心出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、再三の注意をしています。個人ファイルにその都度、新しくなった処方箋を入れ替えたり、ご利用者の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の方のペースにあわせて、ご自分の部屋や、共有スペースのお掃除をしていただいたり、気分転換等の支援としては、外食や買い物、ドライブ等に出かけたりと支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	ご利用者の方の希望がある時は、出 来うる限り、希望にそって、用事や 買い物など、外に出かけている。	職員は天気の良い日には事業所周辺の 散歩のほか、スーパーやコンビニエンス ストアでの買い物に同行したり、事業所 の駐車場に簡易テーブルを置いたりして お茶飲みができるよう支援している。 月1回から2回、車いす使用の利用者 も一緒に利用者が希望する海岸や公園、 花見などにドライブを兼ねて外出ができ るよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	金銭管理は施設側で行っていますが、 その時々（買い物、孫などにあ げる小遣いや、お祝い等・・・）に よって、使えるように支援してい る。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	ご家族に電話をかけたたり、かかって きたりと支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	食事やお茶の場所が、ご利用者の方 達の集まる中心の共用空間となっ ており、自由に過ごす場所となっ ている。季節ごとの花を飾ったりと工夫 をしている。	居間兼食堂に季節の花や観葉植物を飾 るとともに、壁に絵手紙を掲示したり、 一角にソファや長いすを配置したりし て家庭的な雰囲気づくりに努めている。 元アパートを改修した事業所だが、車 いす使用の利用者でも安心して移動が できるように1階から2階にスロープを設 けたり、各所に手すりを設置したりし て、限られた条件の中でも利用者が安全 に居心地よく過ごせるよう工夫してい る。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間として、食事やお茶を飲む場所が、ご利用者の方達の中心集まる場所ではあるが、その他に長いすなどを置き、独りになれたり、気の合ったご利用者同士お話しが出来るよう、工夫に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるように、使い慣れた物や、馴染みのある物など、本人や家族と相談しながら、工夫をしている。	利用者は居室に馴染みのラジオカセットや寝具を持ち込むとともに、位牌や家族の写真、観葉植物を置き、自分らしい居室づくりをしている。 居室のベッドで事業所の代表者が飼っているペット犬と寛いでいる利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人と家族より承諾書をとっており、部屋の入り口に、名前を分かるように出している。又、混乱や失敗を防ぎ、安全で自立した生活が送れるよう、工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 有限会社カサブランカ

作成日 平成25年8月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	20	利用者のこれまでの人間関係や社会との関係を把握し、記録にのこす。	利用者のこれまでの人間関係や社会との関係の把握と記録の作成。	利用者のこれまでの人間関係や社会との関係を本人、家族等より聞き出し、記録を作成する。	6ヶ月
2	23	利用者や家族等の思いや意向を把握し、記録に残す。	利用者や家族等の思いや意向を把握し、記録を作成する。	利用者、家族等に思いや意向を再度聞き直し、記録の作成とともに、全職員で共有していく。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた対応方針の文書化と書面での同意を得る。	重度化や終末期の対応方針の文書作成と同意を得るための書面作成。	重度化や終末期の対応方針の文書作成と、同意を得るための書面の作成。	6ヶ月
4	35	・夜間を想定した避難訓練の実施。・実施結果の記録と、避難限界時間の把握。・備蓄品リスト作成。	・夜間想定避難訓練の実施。・実施結果の記録作成。・備蓄品リストの作成。	夜間想定避難訓練は10月に予定している。避難限界時間の把握を含め、実施結果の記録作成と備蓄品リストの作成。	4ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。